

IV 調査結果の詳細

IV 調査結果の詳細

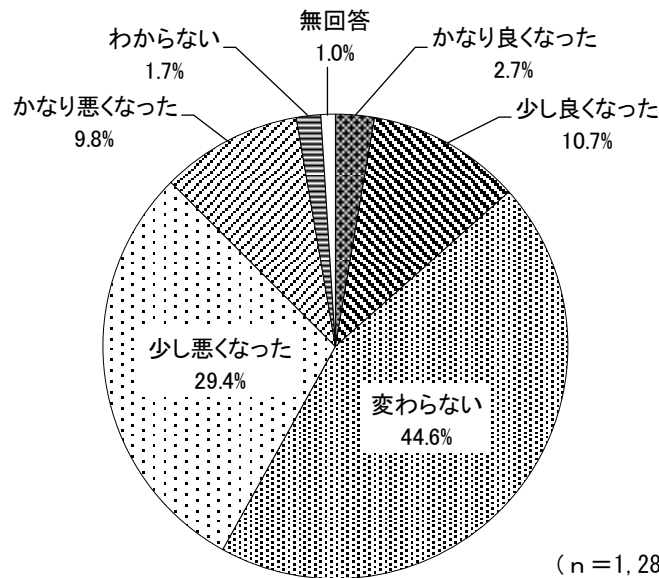
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

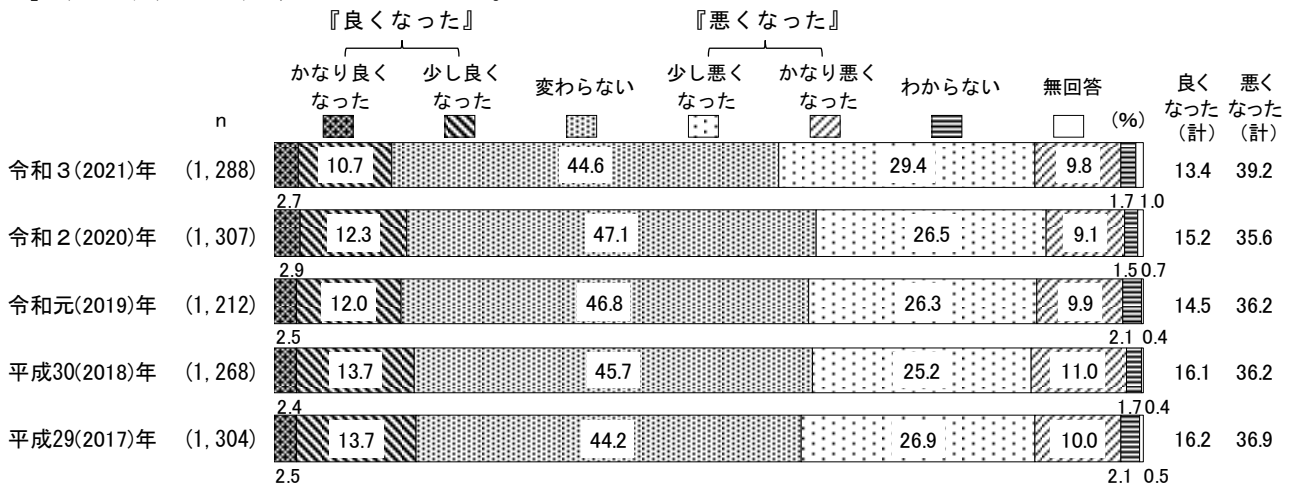
問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1	かなり良くなった	2.7%	4	少し悪くなった	29.4%
2	少し良くなった	10.7%	5	かなり悪くなった	9.8%
3	変わらない	44.6%	6	わからない	1.7%
				(無回答)	1.0%

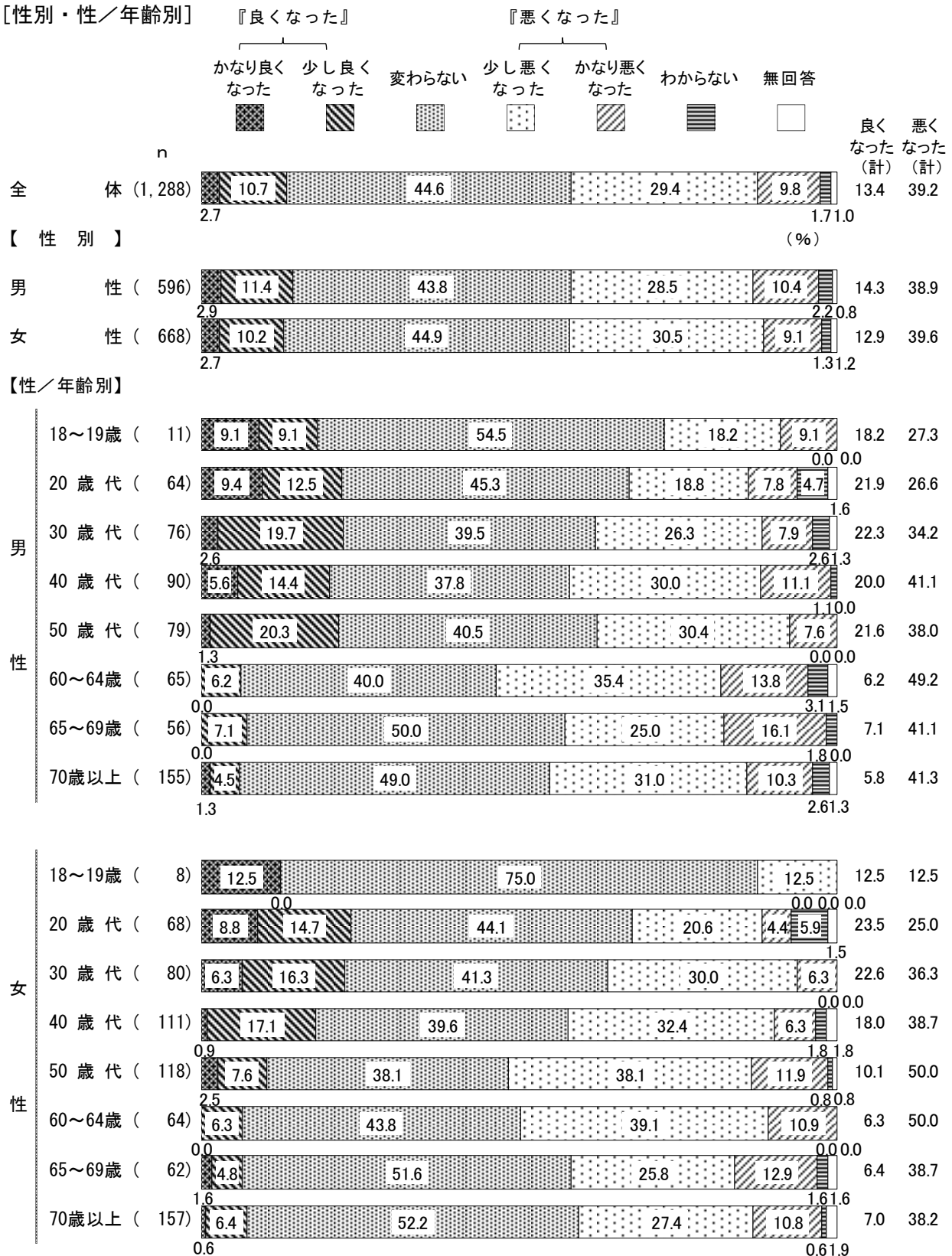


全体で見ると、「かなり良くなった」(2.7%)と「少し良くなった」(10.7%)の2つを合わせた『良くなった』(13.4%)は1割程度となっている。一方、「少し悪くなった」(29.4%)と「かなり悪くなった」(9.8%)の2つを合わせた『悪くなった』(39.2%)がほぼ4割となっている。また、「変わらない」(44.6%)が4割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が前回(令和2(2020)年)より3.6ポイント増加している。

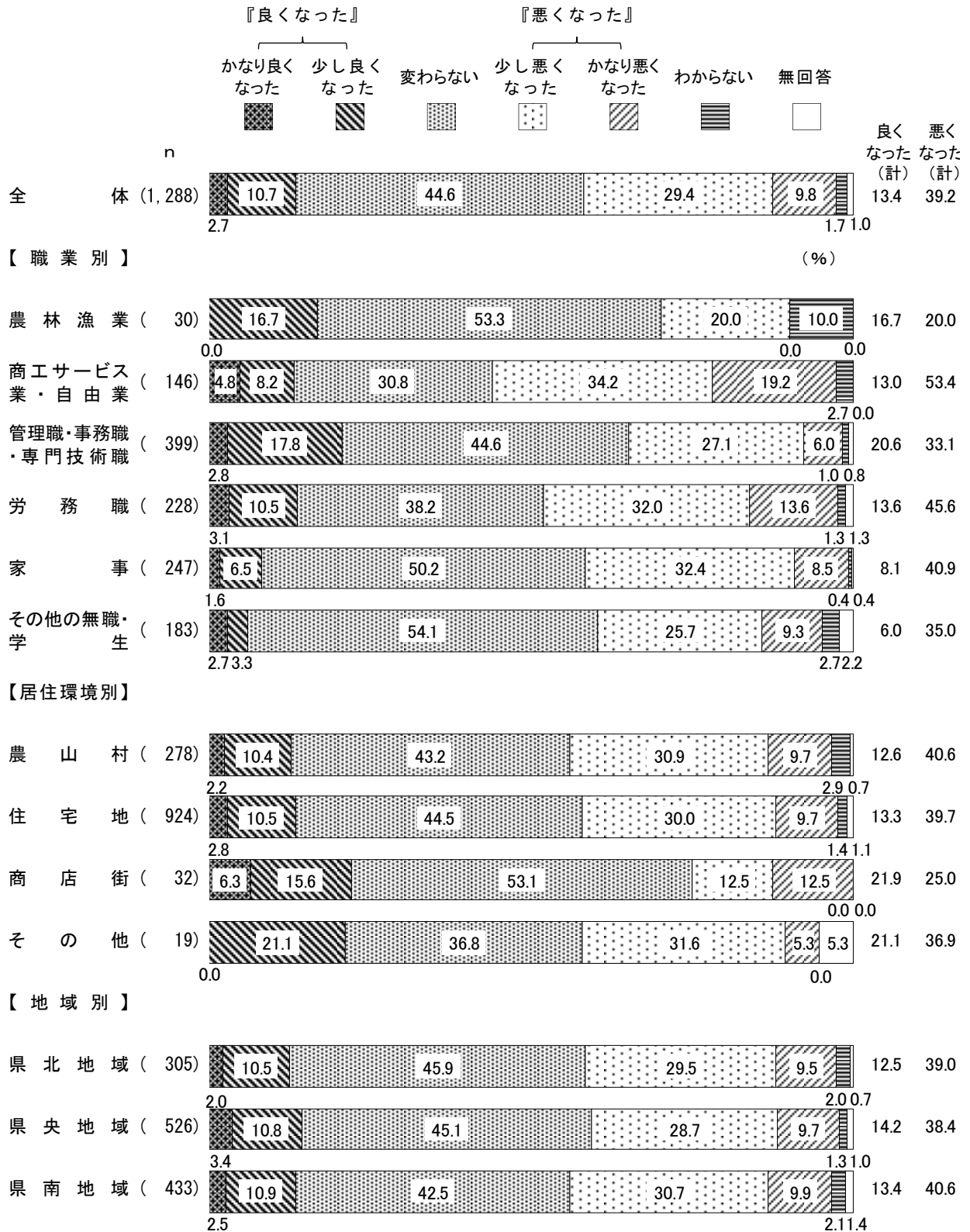
【性別・性／年齢別】



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈女性20歳代〉が23.5%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性50歳代〉が50.0%、〈女性60~64歳〉が50.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別にみると、『良くなった』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が20.6%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が53.4%と高くなっている。

居住環境別では、『良くなった』では〈商店街〉が21.9%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈農山村〉が40.6%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

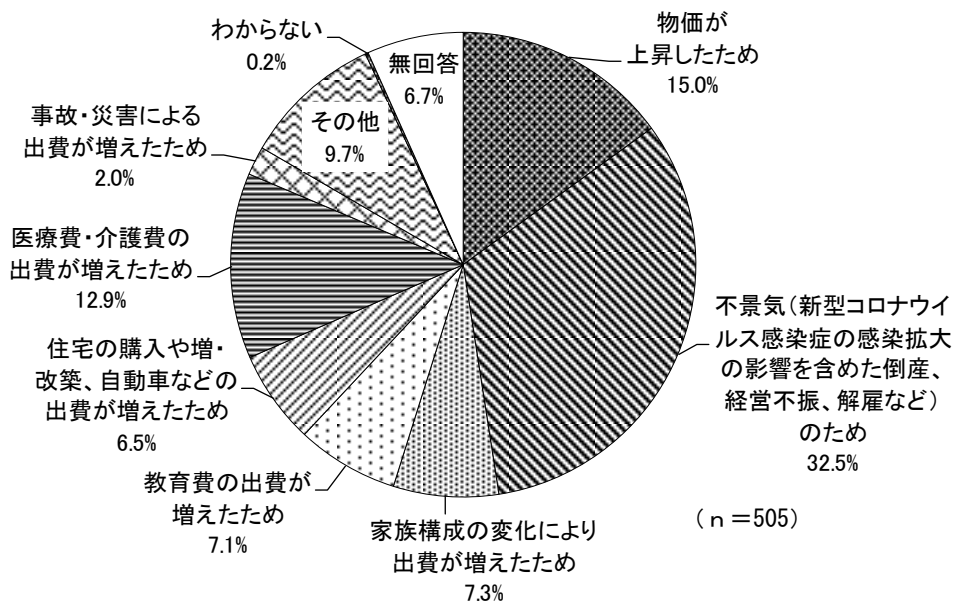
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

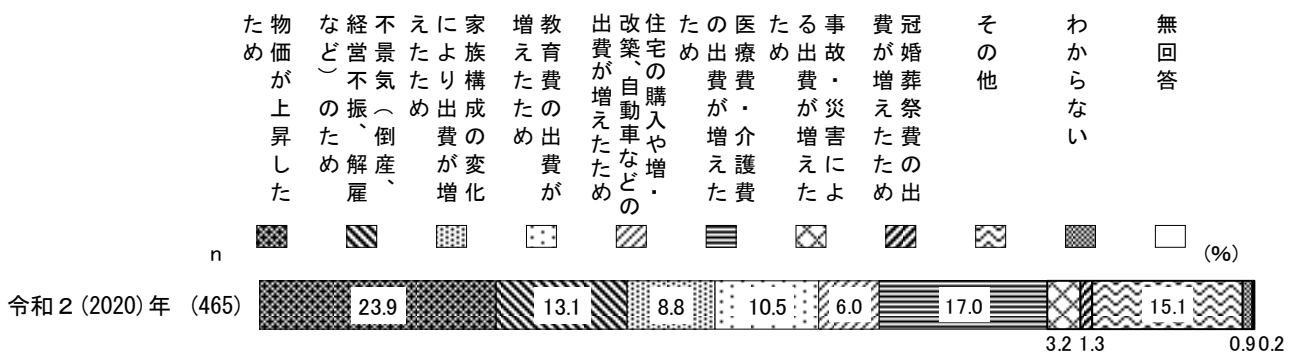
[n=505]

1	物価が上昇したため	15.0%
2	不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため	32.5
3	家族構成の変化により出費が増えたため	7.3
4	教育費の出費が増えたため	7.1
5	住宅の購入や増・改築、自動車などの出費が増えたため	6.5
6	医療費・介護費の出費が増えたため	12.9
7	事故・災害による出費が増えたため	2.0
8	その他	9.7
9	わからない	0.2
	(無回答)	6.7

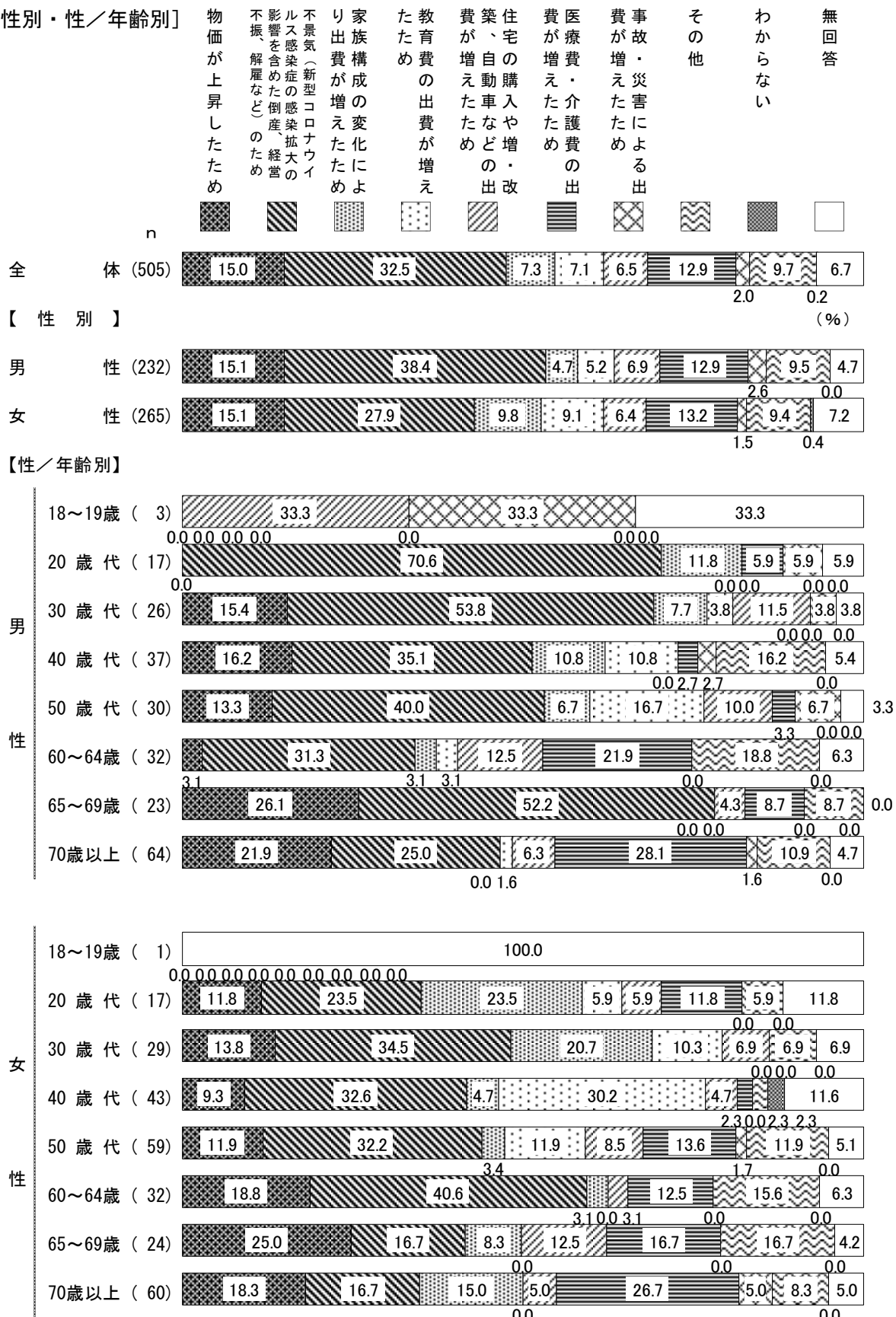


全体でみると、「不景気(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を含めた倒産、経営不振、解雇など)のため(以下『不景気のため』という。)」(32.5%)が3割を超えて最も高く、次いで「物価が上昇したため」(15.0%)、「医療費・介護費の出費が増えたため」(12.9%)の順となっている。

過去の調査結果との比較は、今回調査で選択肢を一部変更・削除しているため、比率を直接比較することができないことから、参考として前回(令和2(2020)年)の調査結果のみを示す。



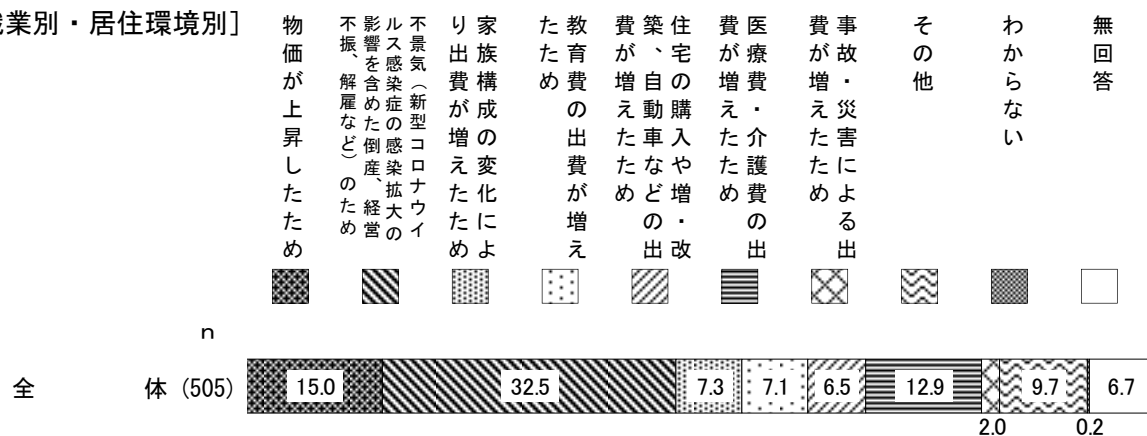
[性別・性／年齢別]



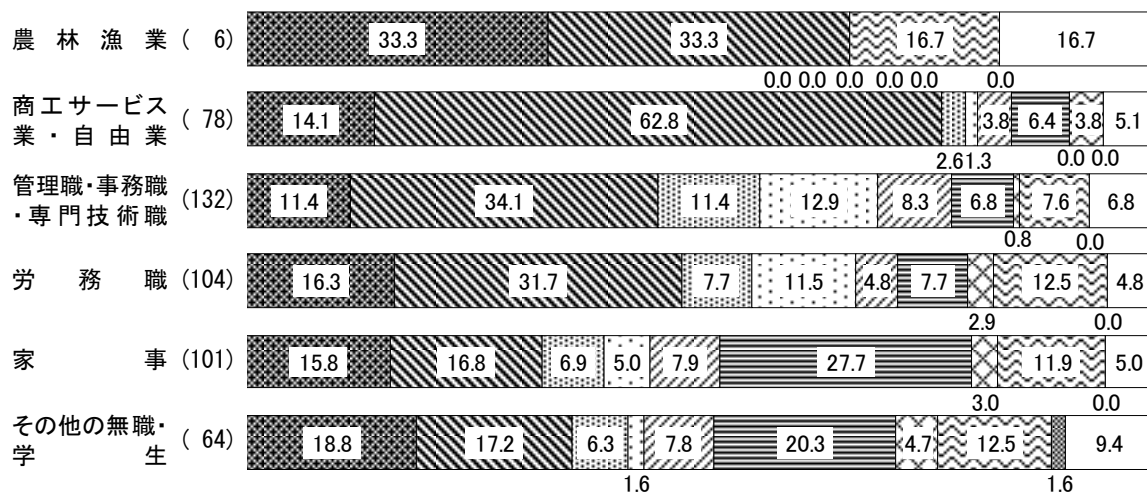
性別でみると、『不景気のため』では〈男性〉(38.4%)が〈女性〉(27.9%)より10.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「教育費の出費が増えたため」では〈女性40歳代〉が30.2%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈男性70歳以上〉が28.1%、〈女性70歳以上〉が26.7%と高くなっている。

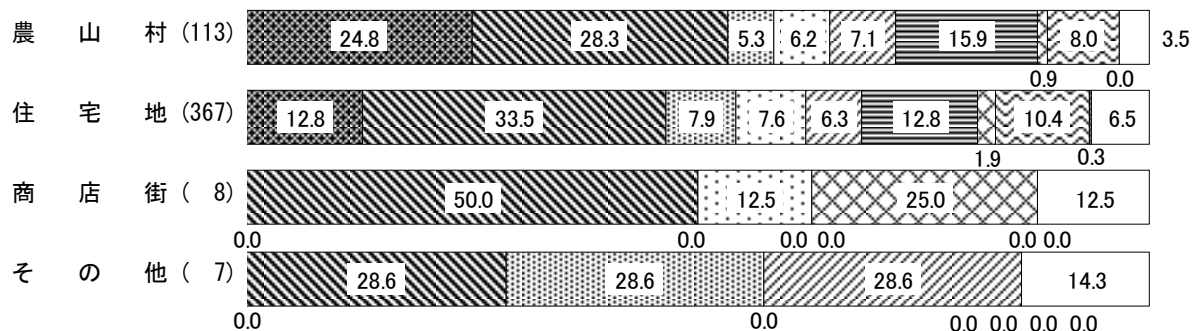
[職業別・居住環境別]



【職業別】



【居住環境別】



職業別でみると、『不景気のため』では〈商工サービス業・自由業〉が62.8%と高くなっている。「医療費・介護費の出費が増えたため」では〈家事〉が27.7%と高くなっている。

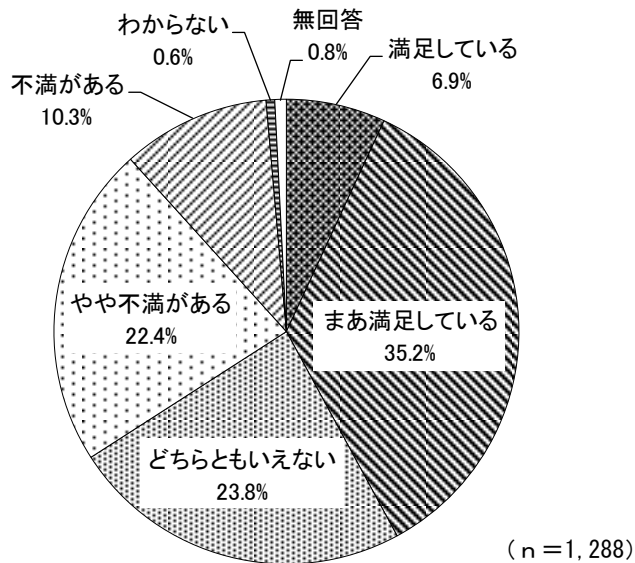
居住環境別でみると、「物価が上昇したため」では〈農山村〉が24.8%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

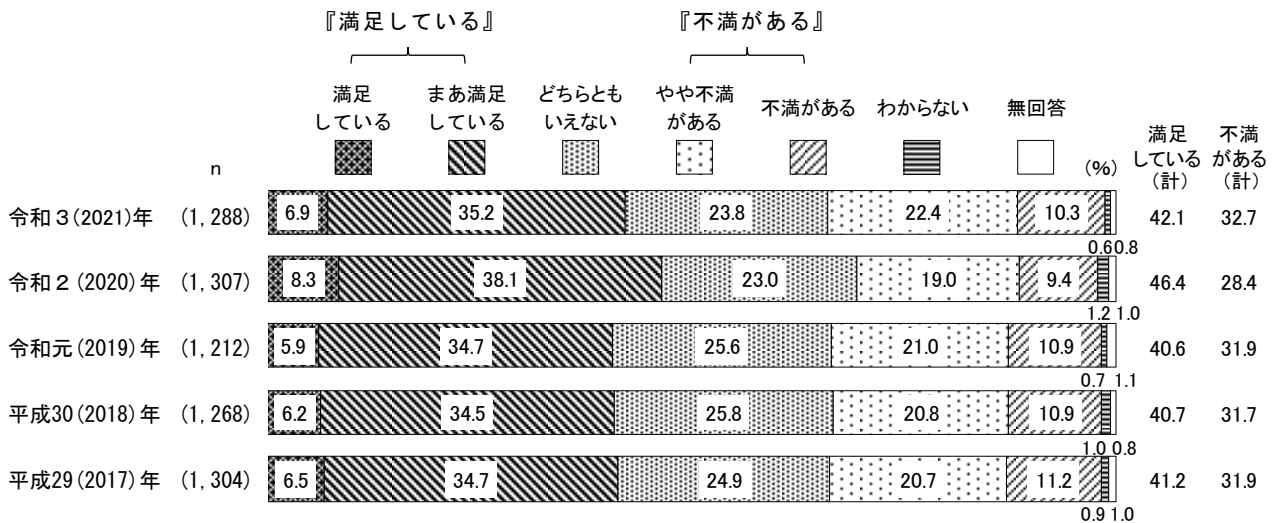
問2 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1	満足している	6.9%	4	やや不満がある	22.4%
2	まあ満足している	35.2%	5	不満がある	10.3%
3	どちらともいえない	23.8%	6	わからない	0.6%
				(無回答)	0.8%

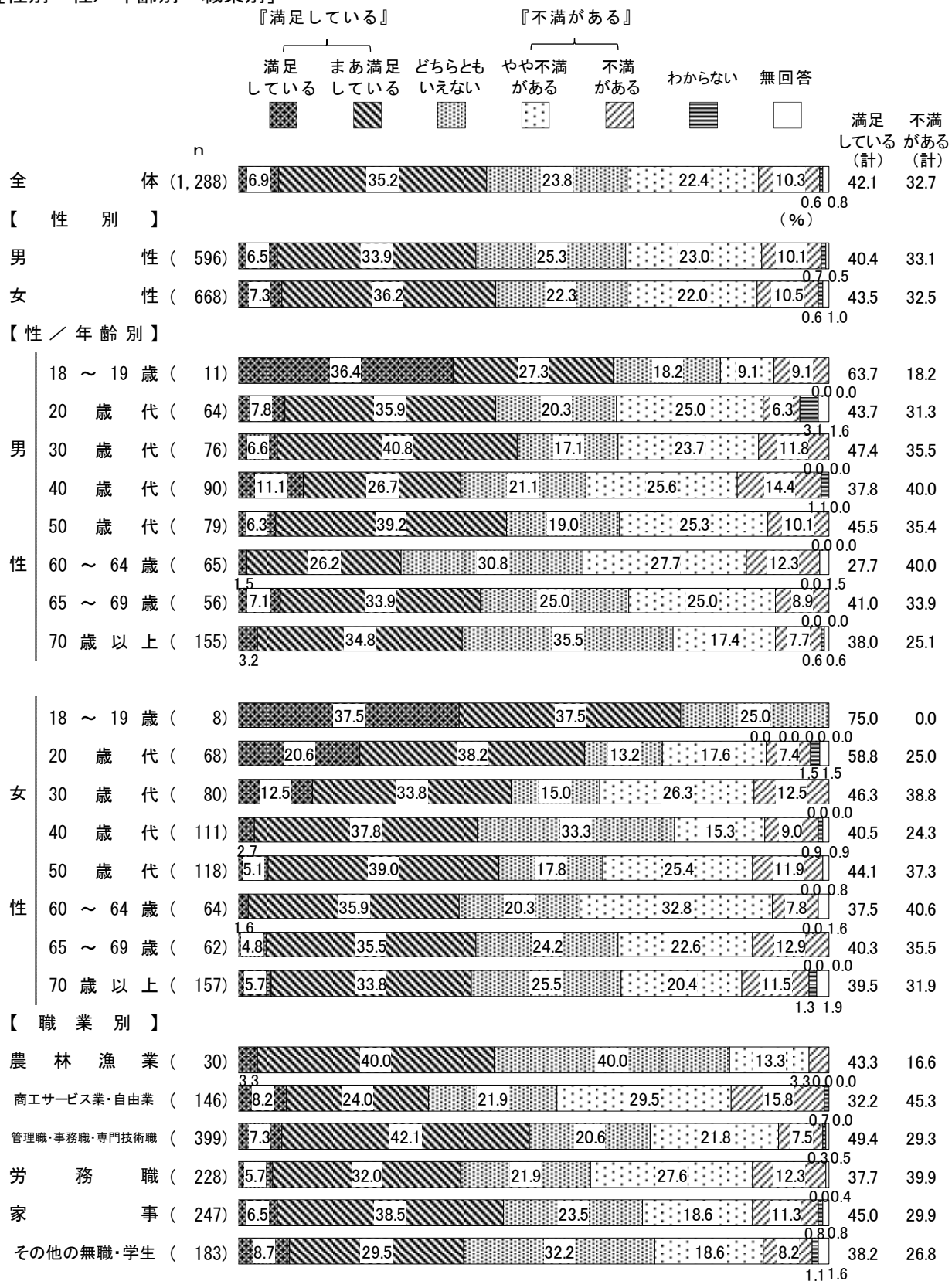


全体でみると、「満足している」(6.9%)と「まあ満足している」(35.2%)の2つを合わせた『満足している』(42.1%)が4割を超えている。一方、「やや不満がある」(22.4%)と「不満がある」(10.3%)の2つを合わせた『不満がある』(32.7%)は3割を超えている。また、「どちらともいえない」(23.8%)が2割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『満足している』が前回(令和2(2020)年)より4.3ポイント減少している。一方、『不満がある』が前回(令和2(2020)年)より4.3ポイント増加している。

[性別・性／年齢別・職業別]

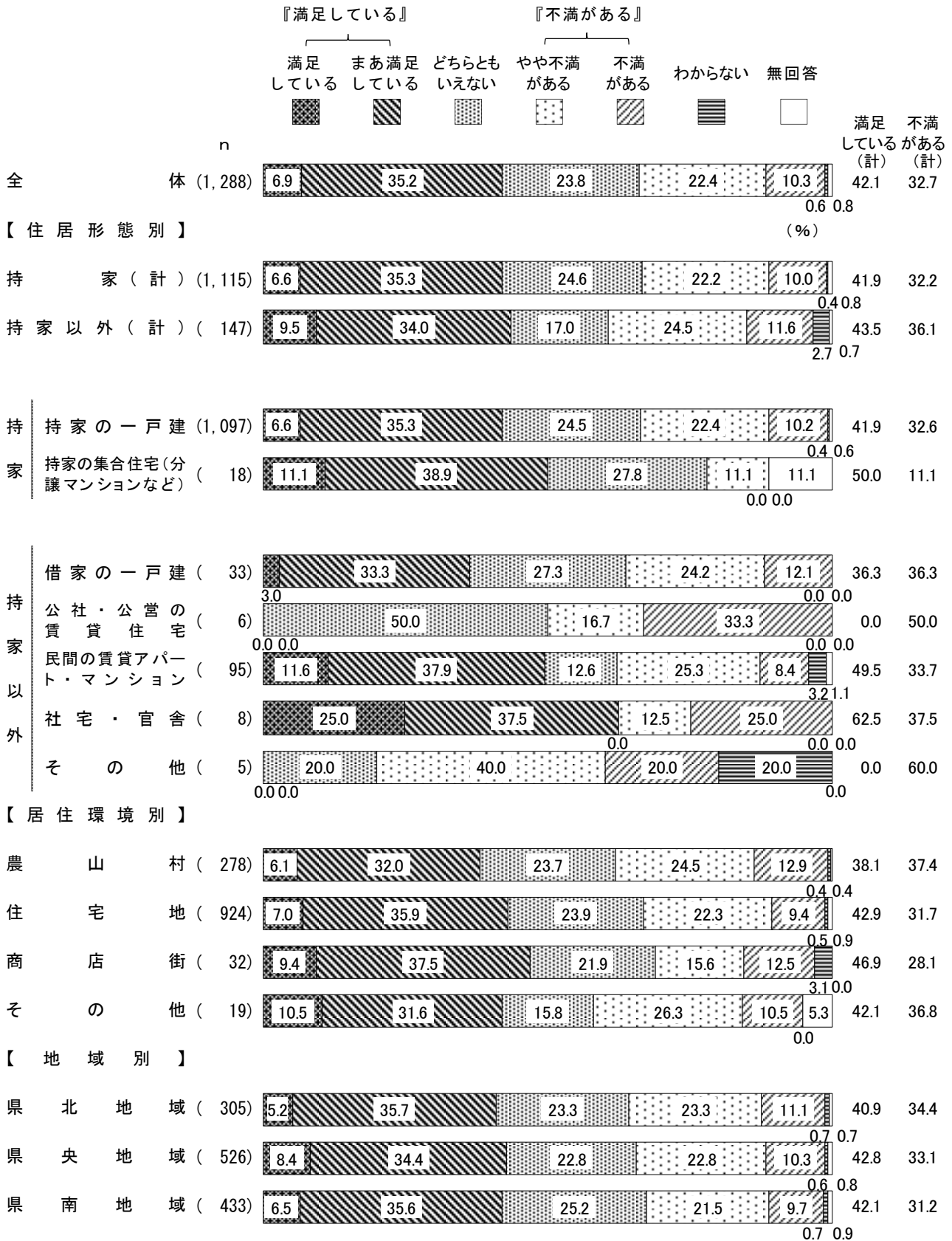


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『満足している』では〈女性20歳代〉が58.8%と高くなっている。「どちらともいえない」では〈男性70歳以上〉が35.5%と高くなっている。

職業別でみると、『満足している』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が49.4%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈商工サービス業・自由業〉が45.3%と高くなっている。「どちらともいえない」では〈その他の無職・学生〉が32.2%と高くなっている。

[住居形態別・居住環境別・地域別]



住居形態別で見ると、「どちらともいえない」が〈持家(計)〉(24.6%)が〈持家以外(計)〉(17.0%)より7.6ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、『満足している』では〈商店街〉が46.9%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈農山村〉が37.4%と高くなっている。

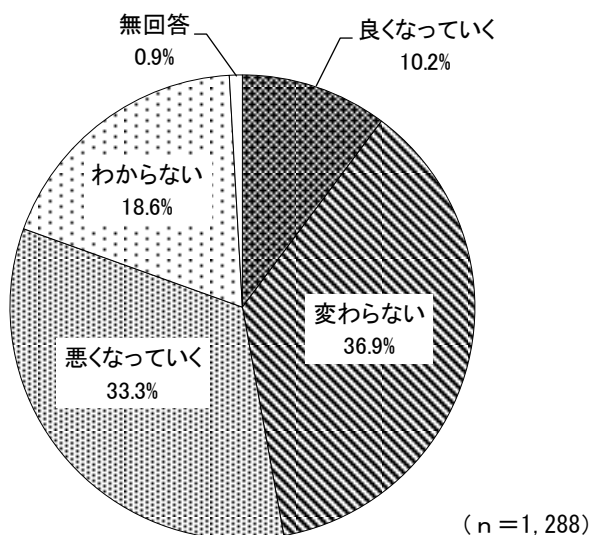
地域別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 今後の暮らしの状況

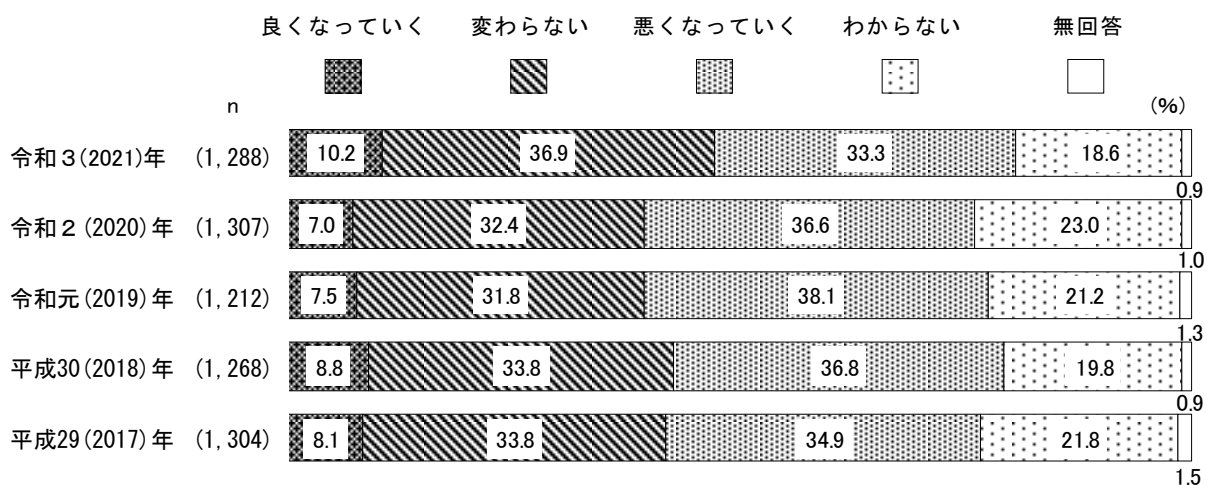
問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1 良くなっていく	10.2%	3 悪くなっていく	33.3%
2 変わらない	36.9%	4 わからない	18.6%
		(無回答)	0.9%

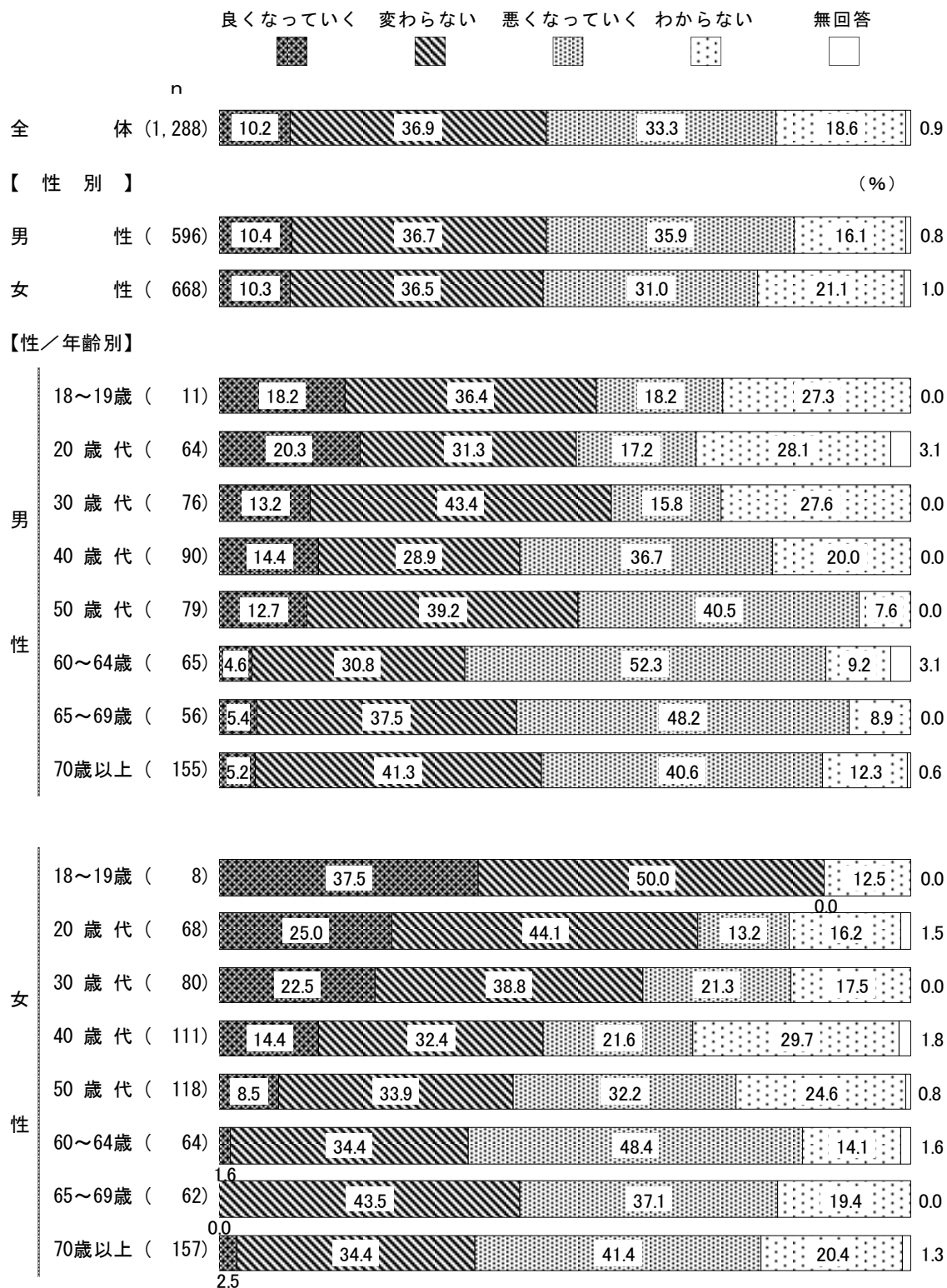


全体で見ると、「良くなっていく」(10.2%)が1割となっている。「変わらない」(36.9%)が4割近く、「悪くなっていく」(33.3%)は3割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、前回(令和2(2020)年)より「良くなっていく」が3.2ポイント、「変わらない」が4.5ポイント増加し、「悪くなっていく」が3.3ポイント減少している。

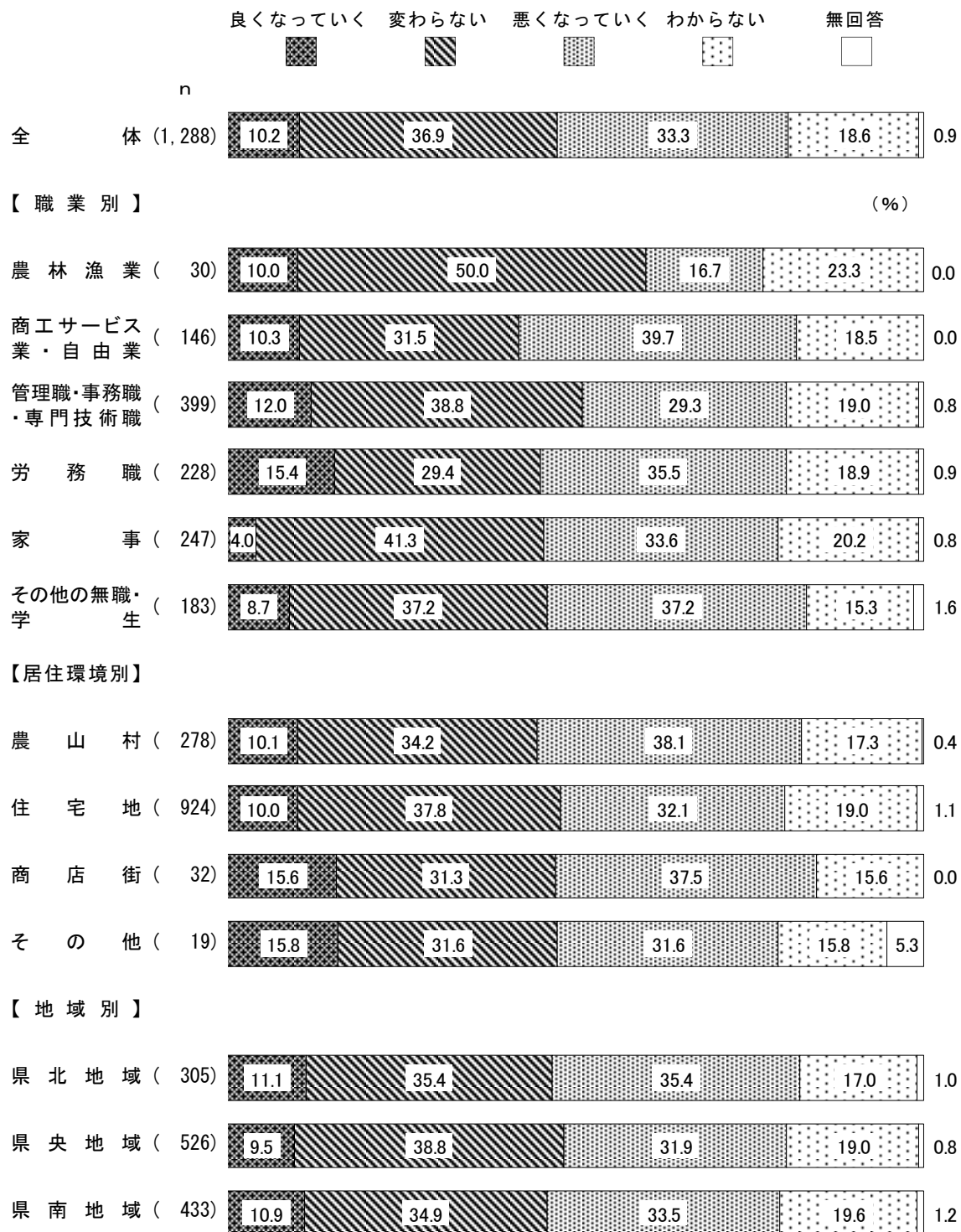
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「悪くなっていく」では、〈男性〉(35.9%)が〈女性〉(31.0%)より4.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「良くなっていく」では〈女性20歳代〉が25.0%、〈女性30歳代〉が22.5%、〈男性20歳代〉が20.3%と高くなっている。一方、「悪くなっていく」では〈男性60~64歳〉が52.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



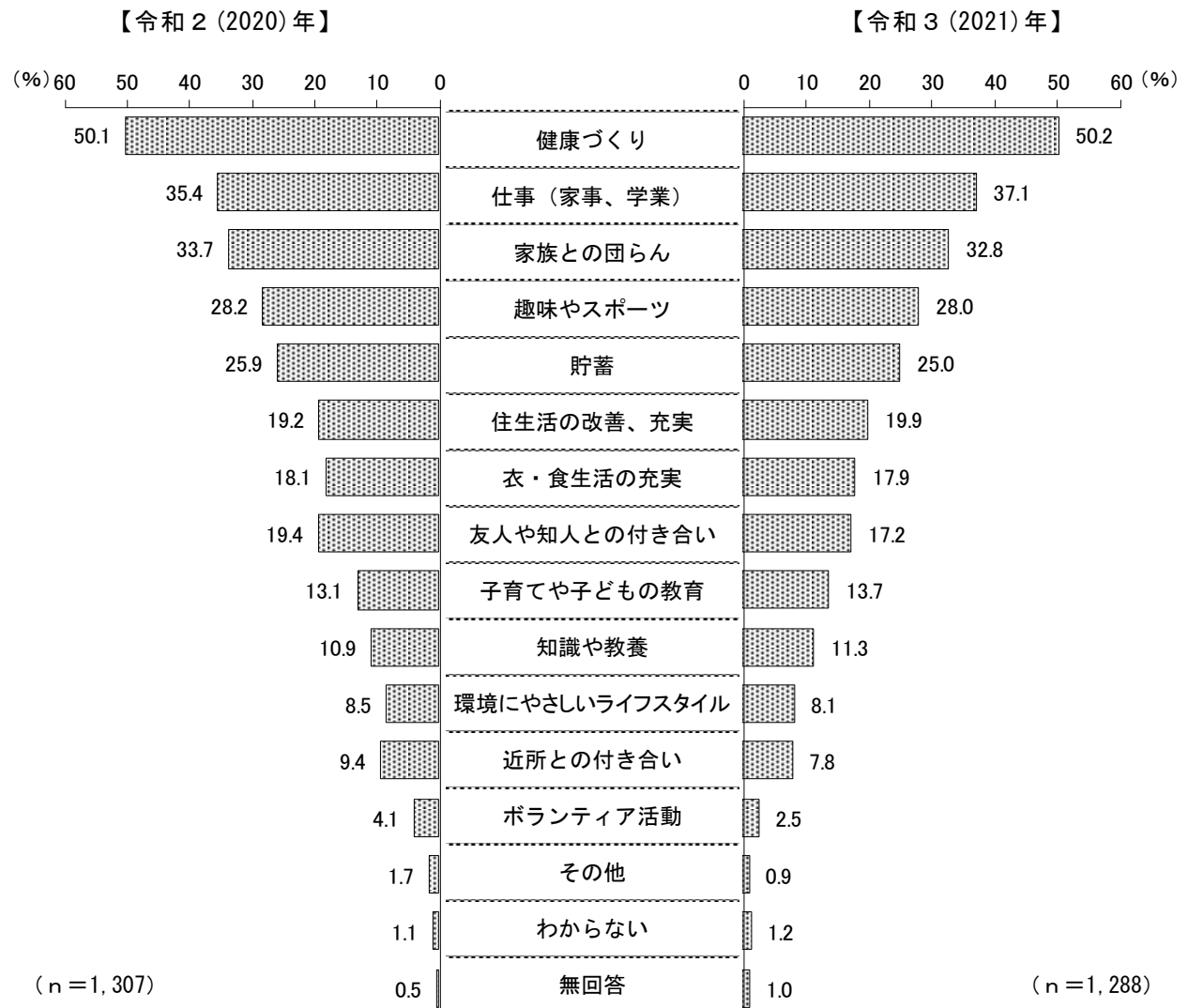
職業別で見ると、「良くなっていく」では〈労務職〉が15.4%で他の職業と比べて高くなっている。居住環境別・地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,288]

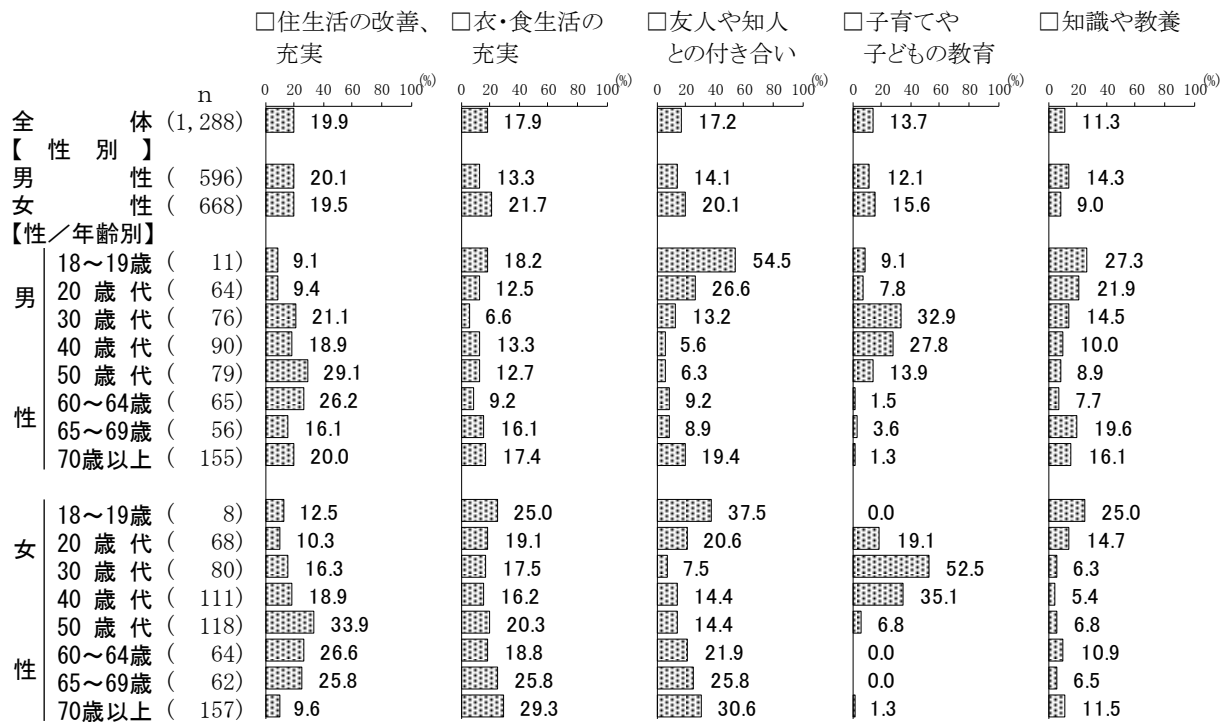
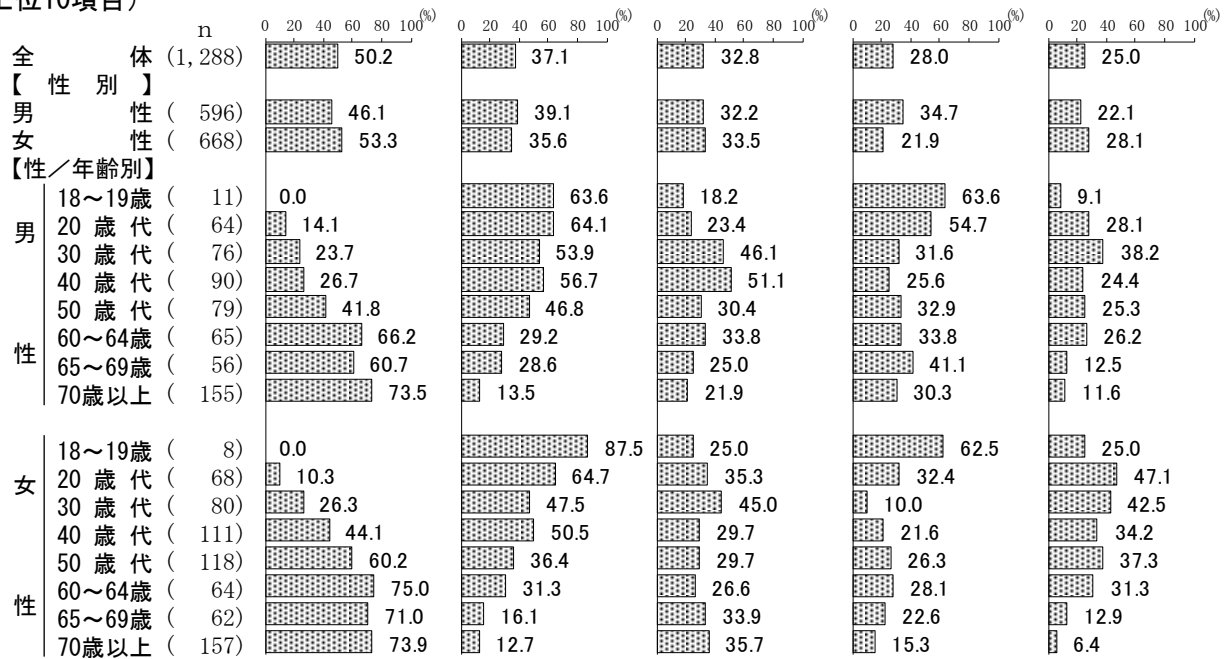
1	仕事（家事、学業）	37.1%	9	家族との団らん	32.8%
2	知識や教養	11.3	10	近所との付き合い	7.8
3	貯蓄	25.0	11	友人や知人との付き合い	17.2
4	趣味やスポーツ	28.0	12	子育てや子どもの教育	13.7
5	ボランティア活動	2.5	13	健康づくり	50.2
6	衣・食生活の充実	17.9	14	その他	0.9
7	住生活の改善、充実	19.9	15	わからない	1.2
8	環境にやさしいライフスタイル	8.1		（無回答）	1.0



全体でみると、「健康づくり」(50.2%)が5割で最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(37.1%)、「家族との団らん」(32.8%)、「趣味やスポーツ」(28.0%)、「貯蓄」(25.0%)、「住生活の改善、充実」(19.9%)の順となっている。

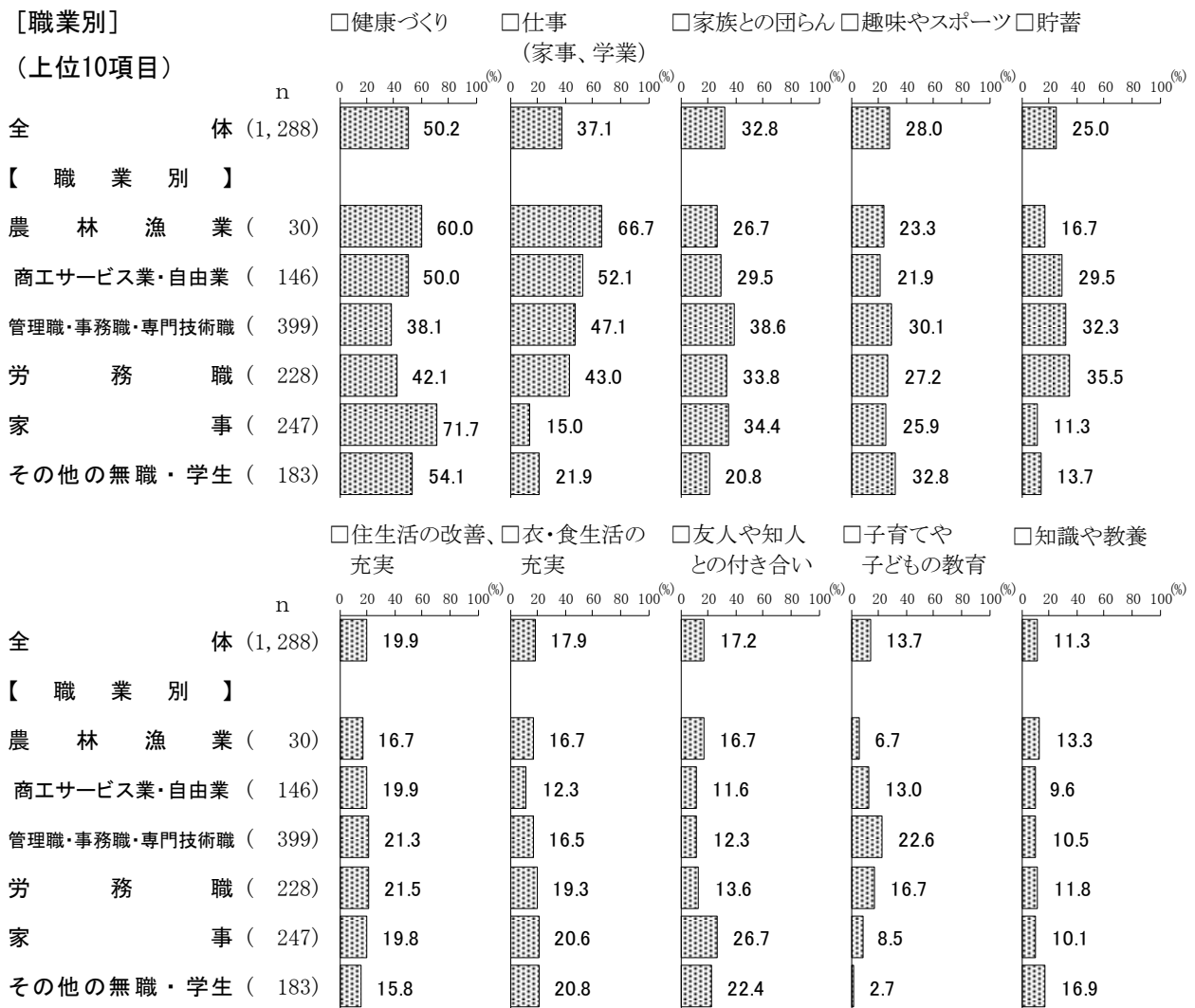
前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別] □健康づくり □仕事 (家事、学業) □家族との団らん □趣味やスポーツ □貯蓄
(上位10項目)



性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(34.7%)が〈女性〉(21.9%)より12.8ポイント高くなっている。「衣・食生活の充実」では〈女性〉(21.7%)が〈男性〉(13.3%)より8.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康づくり」では〈女性60~64歳〉が75.0%、〈女性70歳以上〉が73.9%、〈男性70歳以上〉が73.5%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈女性20歳代〉が64.7%、〈男性20歳代〉が64.1%と高くなっている。「家族との団らん」では〈男性40歳代〉が51.1%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈男性20歳代〉が54.7%と高くなっている。「貯蓄」では〈女性20歳代〉が47.1%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が52.5%と高くなっている。



職業別にみると、「健康づくり」では〈家事〉が71.7%と高くなっている。「仕事（家事、学業）」では〈農林漁業〉が66.7%、〈商工サービス業・自由業〉が52.1%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.1%と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が35.5%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が32.3%と高くなっている。